

関西学院大学主催
春季人権問題講演会

インクルーシブな風土の 醸成を目指して

～多様性の理解を深化させるため、
大学が果たすべき役割とは～

◆2024年6月28日(金)

●午後3時10分～午後4時50分

西宮上ヶ原キャンパス G号館 301 教室
およびオンライン同時配信

いけたに こうすけ
◆ 講師／池谷航介氏

(岡山大学教育推進機構 准教授
大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 招へい准教授)

◆ 参加方法／

【会場】事前申し込み不要

【オンライン】詳細は以下の URL または
QR コードからご確認ください。
<https://qrtn.jp/zreac83>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。

また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学 Web サイト等で配信する予定です。

■講演内容

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が改正され、2024 年 4 月 1 日から施行されています。この法律では障害を理由とする全ての区別や制限等を禁止し、必要な合理的配慮の提供が義務であると定められていますが、インクルーシブな社会をさらに根付かせていくためには、法的に「禁止だから・義務だから」、といったとらえ方を超えて、その意義や価値を問い直すことが重要であるといえます。私はこの 10 年間、2 つの大学で障害学生支援の実務に携わってきました。授業や支援活動を通じて多くの学生と接してきた経験から、大学はインクルーシブ社会の原動力そのものであると確信しています。具体的な多様性理解の取り組み等を踏まえつつ、大学が果たすべき役割について考えていきたいと思います。

■講師紹介

小学校教諭、特別支援学校教諭、大阪教育大学教職教育研究センター特任准教授、東京大学先端科学技術研究センター学術支援専門職員を経て現職。障害学生支援実務の傍ら、現在はスポーツ、レクリエーション、アウトドア場面における支援等、全ての多様性にひらかれた活動のあり方に関して研究を進めている。全国高等教育障害学生支援協議会 (AHEAD-JAPAN) 理事、東京大学障害と高等教育に関するプラットフォーム (PHED) SIG メンバー、京都大学高等教育アクセシビリティプラットフォーム (HEAP) アドバイザリーボード。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

総合テーマ：
「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2020～2024年度)

関西学院大学人権教育研究室

Tel 0798-54-6720 / Mail human-rights@kwansei.ac.jp